

登録コード	UAA50500	開講年度	2026			
授業題目	心理学論				担当教員	今井 章 他
					副担当	高瀬 弘樹・岡本 卓也・松本 昇・白井 真理子
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5 時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				人間と社会を中心とした多種多様な側面を持つ人間の心理に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証することができるようになる。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉えることができるようになる。	
(2)授業の概要	担当教員がオムニバス形式により、実験心理学，認知心理学，社会心理学，記憶心理学，感情心理学などの領域における様々な問題意識，その解決方法，さらに心理学的現象の数量化について概説し，受講生とその内容についてディスカッションを重ねていく。各受講生は毎回，授業に先立って担当教員から提示される課題書籍について購読して授業に臨む。					
(3)授業計画	第01回： 授業ガイダンス（担当：全員） 第02回： 実験心理学における理論の特質と意義（担当：今井） 第03回： 認知心理学における理論の特質と意義（担当：高瀬） 第04回： 社会心理学における理論の特質と意義（担当：岡本） 第05回： 記憶心理学における理論の特質と意義（担当：松本） 第06回： 感情心理学における理論の特質と意義（担当：白井） 第07回： 実験心理学におけるデータの数量化とその理論的意義（担当：今井） 第08回： 認知心理学におけるデータの数量化とその理論的意義（担当：高瀬） 第09回： 社会心理学におけるデータの数量化とその理論意義（担当：岡本） 第10回： 記憶心理学におけるデータの数量化とその理論意義（担当：松本） 第11回： 感情心理学におけるデータの数量化とその理論意義（担当：白井） 第12回： 実験心理学・認知心理学における理論と実践の関係（担当：今井・高瀬） 第13回： 社会心理学・記憶心理学・感情心理学における理論と実践の関係（担当：岡本・松本・白井） 第14回： 心理学の基礎と応用に関する理論的考察（担当：全員） 第15回： まとめ（担当：全員） 期末試験の有無 無 なお，状況に応じて，予告した内容を変更する場合がある。					
(4)成績評価の方法	毎回の授業におけるディスカッションへの参加(50 %)と期末レポート(50 %)によって評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。90%以上：秀，89-80%：優，79-70%：良，69-60%：可，59%以下：不可。					
(5)成績評価の基準	【卓越している】授業での討論に毎回，的確に参加し，心理学に関する基礎的な知識をもとに，適切な情報処理を行い，論理的に思考し，数量的に思考し，自律的に考え，期末レポートの内容が極めて優れている場合は，極めて高い水準にある。 【かなり上にある】授業での討論に毎回，的確に参加し，心理学に関する基礎的な知識をもとに，適切な情報処理を行い，論理的に思考し，数量的に思考し，自律的に考え，期末レポートの内容がかなり優れている場合は，非常に高い水準にある。 【やや上にある】授業での討論に毎回，的確に参加し，心理学に関する基礎的な知識をもとに，適切な情報処理を行い，論理的に思考し，数量的に思考し，自律的に考え，期末レポートの内容が優れている場合は，高い水準にある。 【その水準にある】授業での討論に毎回，的確に参加し，心理学に関する基礎的な知識をもとに，適切な情報処理を行い，論理的に思考し，数量的に思考し，自律的に考え，期末レポートの内容が相当な水準にある場合は，一定水準にある。					
(6)事前事後学習の内容	毎回の授業への参加にあたっては，事前に担当教員による課題書籍を講読してくる必要がある。授業内で議論され，指摘された点は事後学習の材料とする。					
(7)履修上の注意	心理学についての学部における履修による基礎的知識（心理学概論，心理学研究法，心理実験法，心理統計法）があることを前提に授業を進める。					
(8)質問、相談への対応	授業での疑問は授業内で解決できるよう，積極的に発言する。その他の場合は，いずれかの担当教員（ imaia[kr[at]shinshu-u.ac.jp など）にアポイントメントを取った上で，個別に相談する。					
【教科書】	使用しない。					
【参考書】	日本基礎心理学会監修（2018）. 基礎心理学実験法ハンドブック 朝倉書店 18,360円 日本認知心理学会【編】（2013）. 認知心理学ハンドブック 有斐閣 3,780円 Lange, P. A. M. Van, Kruglanski, A. W. and Higgins, E. T., (2012). Handbook of theories of social psychology Vol.1. SAGE. Lange, P. A. M. Van, Kruglanski, A. W. and Higgins, E. T., (2012). Handbook of theories of social psychology Vol.2. SAGE.					